

ウチヤマタイムズ

発行日:平成28年9月20日/編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里/監修:内山文治・吉岡信之
発行所:(株)ウチヤマホールディングス/〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10/電話:093-551-0002

10

2016

UCHIYAMA
HOLDINGS
ウチヤマホールディングス
グループ

東証一部上場
(証券コード:6059)

速報

介護甲子園

さわやか立花館 決勝進出

9月号でご案内していた「第6回介護甲子園」において、「さわやか立花館」が最終予選で見事第1ブロックの1位に選ばれ、決勝大会への進出が決定しました!投票へのご協力ありがとうございました。12月18日に、大阪市で決勝大会が行われます。引き続き応援をよろしくお願いします。



ご利用条件

介護認定(要支援・要介護)を受けられた方であればどなたでもご利用頂けます。ご病気により医療保険もご利用できます。ご相談も随時受付しております。お気軽にお問い合わせ下さい。

さわやか

訪問看護ステーション八幡

〒807-0802 福岡県北九州市八幡西区力丸町16-2 ファイン本城3号

TEL.093-693-2226

ウチヤマグループの基本理念と哲学はもとより、「いつ、どんな時でも笑顔でいられるように」を軸に、職員一同が笑顔いっぱい、元気いっぱい、優しいっぱいで皆様のご自宅等に訪問いたします。地域の皆様、応援してくれる皆様、そして何よりご利用者様の為に全力で運営を行っていきます。地域の方に必要とされ、愛されるよう職員一丸となつて頑張ります。皆様の温かいご指導を宜しくお願い致します。

濱本管理者よりご挨拶

九月一日、さわやか俱樂部で初の訪問看護事業所「さわやか訪問看護ステーション八幡」が福岡県北九州市にオープンしました。看護師がお客様の自宅を訪問して医療処置やリハビリを行い、在宅生活を支援する事業所です。二十四時間三百六十五日対応し、病状や療養生活を看護の専門家の目で見守り、適切な判断に基づいたケアとアドバイスをを行います。ご自宅の他に住宅型有料老人ホームや特定施設グループホームなど幅広く訪問ができます。



管理者・濱本 敏和

さわやか訪問看護ステーション八幡オープン



さわやか

愛の家 なかい館

放課後等
定員
10名
デイサービス

〒803-0836 福岡県北九州市小倉北区中井2-14-19 内山第1ビル

TEL.093-562-7778

周辺に小学校・中学校・高校・大学などが多いので、生徒の方々のインターシップの受け入れを積極的にしています。専門学校や大学生の現場実習も行い、福祉分野における人材育成に協力していきたいと考えております。また、近隣にあるさわやか俱樂部の介護施設で開催される季節のイベントや、地域の行事等にも参加し、児童が楽しく社会と関わる機会を設けることで、地域密着型の福祉施設を目指します。

山本センター長よりご挨拶

九月一日、さわやか俱樂部で四力所目となる障がい児童・生徒の通所支援を行う放課後等デイサービス事業所「さわやか愛の家なかい館」が福岡県北九州市にオープンしました。障がいのある子どもたちに対し、放課後や長期休暇中において療育の場を提供するとともに、レスパイトケア(ご家族に代わり一時的にケアを代替することで、日々の疲れ等をリフレッシュしてもらう)家族支援サービスとしての役割を担っています。



センター長・山本 光輝

さわやか愛の家なかい館オープン





内山さわやか会

家族研修旅行in北海道

8月21日から23日にかけて、内山さわやか会恒例の家族研修旅行が行われ、内山さわやか会の会員様とご家族、総勢30名が参加しました。今回は北海道2泊3日の旅で、さわやか倶楽部が運営する室蘭市の「さわやか室蘭館」「さわやかグループホームむろらん」も訪問しました。その他にもNHKの朝ドラで有名になった余市のニッカウイスキー工場やアイヌ村の見学、サッポロビール園でのジギスカンやカニ料理等、北海道ならではの魅力をたっぷり堪能した3日間でした。



チャイルドスポンサーシップ 報告会

さわやか倶楽部では、国際NGOのワールドビジョンが運営する「チャイルドスポンサーシップ」に参加し、それぞれの介護施設が里親となって世界の貧しい地域の子どもたちへ毎月支援金を送っています。8月27日には、ワールド・ビジョン・ジャパンから副事務局長の木内様、部長の目黒様が本社に訪問され、さわやか倶楽部の施設長が集まる経営戦略会議の中で活動報告会を行って頂きました。



子どもの頃に支援を受けて、その後医者になった青年や、京都大学に留学し、母国の発展のために勉強している学生の例など、これまでの活動の成果を写真と動画で伝えて頂きました。説明会の最後には、日頃の支援へのお礼として、さわやか倶楽部への感謝状が内山社長に贈呈されました。



STAR
No.103



光り輝くスタッフをご紹介！

キラリ★一等星

twinkle!
twinkle!

伊藤 眞美さん [37歳]

さわやか愛の家 めいすい館(福岡県北九州市)／センター長

中学生の時に、ボランティア活動の一環として訪問した障がい者施設で、ハンディキャップを持たれた方々と関わる機会がありました。障がい者という言葉にそれまで暗い印象を持っていましたが、その事業所は職員さんも利用者様もとても明るく、楽しく過ごされていました。私も、誰かのお役に立てればと一念発起し、福祉の世界に飛び込むことを決めました。

今年の7月1日に、介護付有料老人ホーム「さわやか鳴水館」に隣接する形で、「さわやか愛の家めいすい館」を開所することが出来ました。まだまだ「放課後等デイサービス」という福祉サービスの認知度も低く、告知活動に全職員一丸となって取り組んでいるところです。児童たちが楽しそうに過ごす様子や、日々成長する姿を見ながら、保護者の方々のお悩みをお聞きして、一緒に解決出来た時にはとてもやりが

いを感じます。また、その原動力となるめいすい館のスタッフは皆とても明るく、笑顔の絶えない事業所です。そんなスタッフ達と一緒に働けていることに感謝しています。

愛の家めいすい館では、児童達と一緒に色々な事にチャレンジしています。今後は畑での野菜作りも行い、キャンプ場で火起こしから始め、水をくみ、自分達で育てた野菜で料理を作ったりして、今私達は何不自由なく生活できているのは、多くの方々から支えられているおかげだということを、体験を通して学んでもらいたいです。趣味はお菓子作りで、クッキーやケーキは家族や友人からもなかなか好評なので、めいすい館の児童たちも一緒に楽しくお菓子作りに取り組んでもらっています。私達は、「障がい」という言葉を個性と考え、個々に持つ幅広い可能性を拡げることが出来るよう支援させていただきます。



福田 利津子さん [コロッケ倶楽部 宇部店] 山口県宇部市

午前中は落ち着いた営業でしたが、午後よりお客様の来店が多くなり、アルコールの飲み放題などオーダー遅れのないように提供致しました。ランチの食数は少なかったのですが、他のオーダーが多かったので、遅れのない様に注意して、お客様にはきちんと言葉を添えて提供致しました。

また、今日はお子様が多く、ソフトクリームなど手の届かない所は、手伝ってあげたり、いっしょに作ってあげたりしました。とても気持ちの良い一日でした。お年寄り、お子様、お客様を大切に仕事をさせて頂きます。



あり いえ
有家 留美子さん [さわやか愛の家 めいすい館] 福岡県北九州市

「おはようございます!」と今朝お迎えに行った時、今まであまり関わりのなかった児童が駆け寄って来て、私にしがみついてきたのです。「この子はめいすい館からのお迎えを待っていてくれたんだ」と思いました。自閉症のお子様ですので、自分の感情を上手く表現できないながらも、私にしがみつくことが精一杯の感情表現だったのだと思います。

めいすい館に来ることを楽しみにしている子ども達がいると思うと、夏の暑さや疲れも吹っ飛びます。明日も頑張ります。

産んでくれて、 育ててくれて、ありがとう。

両親へ、感謝の
気持ちを込めて...



しょう
石井 翔さん

さわやか行橋館
福岡県行橋市

私は福岡県築上郡で生まれ、今月で28歳となりました。ずっと両親と一緒に生活し、今も実家で暮らしています。自分の仕事に誇りを持ち、働く姿がとてまっことよかった父は、どんな事でも器用にこなさ、いざという時に本当に頼りになる人です。家族がずっと何不自由なく過ごせてこれたのは、そんな父のおかげです。

私には兄が一人いますが、母は仕事熱心だった父を支えながら、どんな時でも私達兄弟のことを一番に考え育ててくれました。学生の頃は特に、厳しさを感じる時もありましたが、きちんとした生活習慣や、人を思いやる優しさを身につけることができたのは、そんな母のおかげです。

歳を重ねるにつれて、両親とこんなに長い時間一緒にいられるのは、とても幸せなことだと思うようになりました。一緒にいて、両親からの愛情を常に近くで感じられる今、私も日頃から感謝の気持ちを返していこう、その時できる親孝行はその都度していこう、と思いながら日々生活をしています。

お父さん、お母さん、今後も体に気をつけてください。まだまだ心配をかけてばかりかもしれませんが。言葉では表せないくらい、本当に、感謝しています。お父さん、お母さん、産んでくれて、育ててくれて、本当にありがとう。

おたよりのご紹介

コロッケ倶楽部 西新店

月2回来店しています。くぎもとさんをはじめ、スタッフの方は男性女性問わず気配りが行き届いています。いつも感じのいいスタッフのおかげで気持ちよく利用させていただいています。友人にもおすすめです。(福岡県福岡市・野口様より)

コロッケ倶楽部 長崎本店

帰省中の親友3家族で久しぶりに会うために利用させて頂きました。子連れなので、お店を探すのがいつもたいへんですが、広い個室で周りに気を使うことなく、とても楽しい時間が過ごせました! ランチメニューが豊富で良かったです。ドリンクバーもとても良かったです。ソフトクリームも美味しかったです! また利用します。(長崎県大村市・大石様より)

コロッケ倶楽部 宮崎柳丸店

ルームの変更に、嫌な顔一つせず応じてくれました。こちらの要望を言った時、嫌な顔をする人が多い中、皆で快く聞いてくださりとても嬉しかったです。皆がこれからも良い接客が出来るよう、たくさんほめてあげてください。(宮崎県宮崎市・岩田様より)

コロッケ倶楽部 浦添店

高嶺店長、ともしさんの接客がとても優しく、分かりやすかったです。何回も行っていますが、いつもステキな笑顔で嬉しいです。また行きたいです。一人カラオケはいつもコロッケです。(沖縄県浦添市・佐々木様より)





元気の森



先日もし館では、「元気の森」へ行ってきました。初めて元気の森へ行く児童や久しぶりに行く児童がいましたが、みんな体を思いっきり動かして元気に遊んでいました。

それぞれの児童がお気に入りの遊び場所で終始笑顔で遊んでいました。

木馬を自分でこぐとメリーゴーランドのように回る仕組みになっているので、一生懸命こいでいます。

床に積み木をきれいにはめてお片付けしてくれました。(写真をとるよー!というところ、この顔をしてくれました)



スポンジが気持ち良かったのか寝転がり、遊びに来ていた他の子たちにスポンジの中に埋めてもらってうれしそうでした。児童たちは、いっぱい体を動かして楽しかったと笑顔で話し、今度は滑り台をたくさんすべりたい! などと言ってくれました。(久保山 瞳)



かわいい お客様



だきしめ保育園の園児さんたちが遊びにきてくれました。26名のかわいい園児さんたちに利用者様はメロメロ。私たちにはなかなか見せてくれない表情をさせていました。お遊戯の最後にはプレゼント交換。お互いが一生懸命作ったプレゼントに、お互いが大喜び。

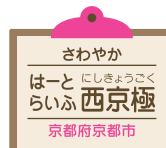


「また来てねー」「また来るねー」と再会を誓い合ったのでした…だきしめ保育園のみなさん、ありがとうございました。(小津和 愛)



みんなのお便り集まれ～!

さわやか・ だより



スカイ フェスティバル

京都府・京都SKYセンター・京都府社会福祉協議会・京都新聞社主催のSKYふれあいフェスティバルに行ってきました。毎年この日の作品を出展する為、半年前から企画しご入居者様と共に作品を作って参りました。昨日、皆様をお連れし、とてもお喜び頂けた様子をお知らせいたします。



まずは我が作品掲示の前で1枚。うちの施設も大作でしたが、他の施設も凄い作品が一杯。作品を見るのも本当に楽しみです。いろいろな作品に凄い凄い連発でした。

今年はお抹茶のサービスもあり、ほっこりです。楽しい時間はあっという間でした。(吉田 友子)

さわやか
かぬま館
栃木県鹿沼市

機械浴勉強会!

歩行や座位をとることが不自由なご利用者様のための機械浴スキルアップの勉強会を開きました。

機械浴のメリットは体が不自由で一般浴に入れない人やシャワー浴、清拭しか対応できない人もゆっくり浴槽に浸かることができ快適に過ごせるということです。使用する回数は少ないかもしれませんが、自信を持って操作ができるように一生懸命、ナースから指導を受けました。

逆にデメリットもあります。ご利用者様に、少し、怖い思いをさせること。服を脱いだ状態でストレッチャーに乗るため、ご利用者様の尊厳をまもらなければなりません。そのため、職員たちはメモを取りながら真剣に実施指導を受けました。(木主 和治)



さわやか
レーク なかのほろ
サイド 中ノ原
福岡県北九州市

そうめん流し



夏といえば、毎年恒例のそうめん流しレクリエーションです。入居者様も、楽しみにされていらっしゃる方が多く、昼食後にもかかわらず、たくさん召し上がって頂けました。流れてくるそうめんを、すばやくキャッチしながら、「とれた～」と思わず笑顔がたくさんこぼれます。

スイカ割りも楽しんで頂き、そうめん流しの後に召し上がって頂きました。2階の入居者様が即興で、ハーモニカを傍らで吹いてくださり、心地よいBGMが流れる中、スイカも「甘くておいしかった～」と大変喜んで頂きました。

とどこおりなく終わり、レクリエーションも大成功で、準備からバッチリ行ってくれた職員に感謝です。ありがとうございます。(行徳 温子)

さわやか
なんよう館
愛知県名古屋市中区

和食処「ひだまり」



さわやかなんよう館では第1回居酒屋レクリエーションとして、「和食処 ひだまり」をオープン致しました。

看板から手作りし、暖簾や障子なども入居者様や職員と何度も打ち合わせを重ねて、会場設営を行いました。お料理も、もちろん全て手作り致しました。

今回女将さんをしてくれたのは女性の入居者様です。お酒を作りお酌をし、お客様(他入居者様)との会話を楽しめたり、短い時間ではありましたが、充実した時となりました。



閉店時お客様(入居者様)からは、いつもと違った雰囲気です。料理もお酒も「でらうまい!!」と名古屋弁で喜んで下さいました。またの御来店を心よりお待ちしております。(小玉 智一)



さわやか
むなかたのもり
福岡県宗像市

ワクワクワーク!!



宗像市のワクワクワーク(中学2年生の職場体験)で4人の女子中学生が来てくれました。初日で緊張している4人です。地域のふれあいサロンのストレッチにご利用者様と参加しました。教えてもらったハンドマッサージをご利用者様にしてくれました。

午後からはご利用者様たちと風船バレーでにぎやかに過ごしました。ご利用者様から何度も同じ質問をされ、戸惑いながらも一生懸命話し相手になってくれました。明日もよろしくお願いします。(中村 みすず)



Message from PRESIDENT

ウチヤマグループ代表 内山 文治

仲間に学ぶ「五つのリ」



九月の初め、台風十二号が沖縄の南で発生し、ゆっくりと九州に向けて北上していました。丁度その数日前、東北地方に上陸した台風十号の影響で、岩手県にあるグループホームでは九名の高齢者が亡くなったという悲劇が報じられたばかりでした。入居者様も職員も不安を抱えながら台風の行方を見守っている中、雨風が強くなると予測された福岡県内にあるさわやか倶楽部のいくつかの介護施設では、夜勤の職員だけでなく施設長も施設に自主的に泊り込んで、いざという時に備えてくれていました。さわやか行橋館の丸塚施設長、さわやか行橋式番館の木下施設長、さわやか直方館の栗原施設長、さわやか鳴水館の是此田施設長、本当にありがとうございます。

結果的には台風は大きな被害をもたらすことなく、無事に通過しましたが、彼らの思いやりのある行動によって、入居者様も大いに安心して過ごすことができたことと思います。素晴らしい仲間たちの行動に、私も日々、様々なことを学ばせてもらっています。

八月二十一日から二十三日にかけては、毎年夏休みの恒例となっている「内山さわやか会」の家族研修旅行に参加しました。今年の行先は北海道で、札幌や小樽など様々な観光地を訪問する合間を縫って、さわやか倶楽部が室蘭市で運営している介護施設「さわやか室蘭館」と「さわやかグループホームむろらん」にも立ち寄りしました。

朝早くからの訪問にもかかわらず、それぞれの施設の入居者様、職員が総出で大歓迎してくれました。さわやか室蘭館では、減多に施設を訪れることができない私に、入居者の方々が歓迎のあいさつに加えて花束まで用意してくれており、たいへん感激しました。その後、入居者様も一緒になって毎朝実施されている「活力朝礼」の様子を見学しましたが、多くの入居者様が参加され、たいへん迫力のあるものでした。

隣接するグループホームむろらんでは、須藤治美ホーム長が私たちを案内してくれました。平成二十六年にさわやか室蘭館のオープンングスタッフとして入社した際、本社での研修で会って以来の久しぶりの再会となりました。今年七月一日にグループホームを開所して、わずか二か月で満床になったという報告を事前に聞いていた私が、須藤ホーム長に「よく頑張ったね」とねぎらいの言

葉をかけると、感極まって大泣きされてしまいました。管理者として初めて経験する施設の立ち上げから満床に至るまで、彼女がどれほど真剣な思いで仕事に取り組んできたかが痛いほど伝わってきました。そんな姿に私も思わずもらい泣きして、涙を流しながら館内を回り、喜びをとにも分かち合つことができました。

実績のない新規の施設でこれほど早く入居が進んだのは、須藤ホーム長を中心とする各職員の熱意がお客様に伝わったからに違いありません。さらに加えて言えば、先に開所していたさわやか室蘭館の地元での評判がたいへん良かったことも、大きなフォローになっているということでした。北九州の本社から遠く離れた北海道でも、ウチヤマグループの理念と哲学がしっかりと根付き、仲間の支え合いと協力によって素晴らしい施設運営がなされていることを確認することができて、たいへん充実した視察となりました。帰りには、室蘭名物の焼鳥と朝獲りのとうきびまで焼いて私たちに振る舞ってくれ、同行していた内山さわやか会の皆様にもたいへん満足して頂きました。気持ちの良い対応をしてくれた松崎健一エリアマネジャーはじめ入居者様、職員の皆さん、本当にありがとうございます。

先に行われたリオデジャネイロ・オリンピックでは、日本選手の活躍が連日報道されていました。中でも銀メダルを獲得した男子四〇メートルリレーでは、個人で一〇〇メートル十秒を切る選手は一人もいない中で、世界を驚かせたバトンパスの技術によって、アジア新記録での快挙を達成しました。企業においても、一人の傑出した能力に頼るのではなく、仲間とのチームワークによって組織としての総合力を高めることで、他社に負けない強さを発揮できるのである。凡人に非凡のことをさせるのが組織の目的である」というドラッカーの格言もあります。基本理念と哲学を一人ひとりが理解し、五つの「リ」(気配り・目配り・心配り・言葉配り・思いやり)を実践することが、ウチヤマグループにとって成長への一番の近道となります。

九月一日には、さわやか倶楽部で四力所目となる放課後等デイサービス事業所「さわやか愛の家なかい館」がオープンし、新規事業となる訪問看護事業所「さわやか訪問看護ステーション八幡」も開設しました。私たちの挑戦はまだまだ続きます。常に仲間と励まし合いながら、事業の垣根を越えて協力し合うことで、最高のチームワークという武器を身につけていきましょう。



介護甲子園への道



私は、介護というのは究極のサービス業であり、「感動」「感謝」「感謝」という素晴らしい3Kを感じられる仕事だと常々思っています。しかし、世間では介護業界は「きつい」「きたない」「給料が安い」という負の3Kの代表のように言われ、介護を志す人は全国的に不足しています。そんな中、介護現場で活躍しているスタッフにスポットライトを当て、高い志を持つ介護人材が増えることを目指す素晴らしい取組みも多くあります。社団法人日本介護協会が主催する「介護甲子園」というイベントは、二〇一一年から毎年開催されており、今年で第6回目となります。初年度は参加事業所が百三十五事業所という小規模なイベントだったのですが、毎年参加事業所は前年の約二倍に増加を続け、第六回目となる今年は、何と四千八百十二事業所がエントリーしていました。介護という仕事の素晴らしさを伝えたいという思いを持つ同志が大変多いという証であり、心強く感じます。

今年の介護甲子園は、当社の施設も全施設がエントリーしました。六月末にエントリーシートを提出し、書類選考を受けて、二次選考に残ったのは、四千八百十二事業所の内、わずか三十事業所です。その三十事業所の中に当社の「さわやか立花館」と「さわやか清田館」を選んで頂いていましたので、八月に行われた二次予選のネット総選挙では、ウチヤマグループを挙げて応援しました。利用者様、ご家族様、関係各社の皆様にも多くの激励の言葉を頂き、改めましてお礼申し上げます。大変ありがとうございました。おかげさまで「さわやか立花館」が、二次予選を通過し、決勝大会に進むことになりました。九月十一日には、担当の田中秀和エリアマネジャーと山口一也副施設長が、東京の浅草ビューホテルで開催された出陣式に参加し、関係者の前で決意表明を行いました。十二月十八日に大阪で行われる決勝大会の準備も進めてくれており、今からその発表を楽しみにしています。以下に山口副施設長の決意表明を一部紹介します。

本日は、多くの仲間の思いを乗せて東京まで参りました。

「さわやか立花館」では、熊本地震で被災された方を十八名受入れ、現在も六名の方が暮らされています。熊本地震が起こった時、私達は社長・内山の思いと号令ひとつで、後先を考えずに動き始めました。当社の全ての空室を無償提供すると宣言し、被災したばかりの熊本：余震が続き、高速道路は分断され、全ての道が大渋滞の被災地へ物資を乗せて走り、避難所を巡って避難所では生活できないご高齢者を安全な施設へお連れし続け：物資が届き喜ぶ方々の声を聴きました！

施設へ到着し段々と安心と笑顔を取り戻していく方々の顔を見ました！

身内の安全を確認して喜ばれるご家族の思いを受けました！

介護現場にいますと、多くの人が「ありがとう」と口にします。私たちも、お客様も口にします。しかし、こんなに多くの、そして重みのある「ありがとう」に囲まれた経験は初めてでした。介護ができる自分で良かった、社会貢献を目指す会社や仲間で良かったと心から思います。

決勝大会では、孤独や無力感の中でさわやか立花館に入居されてきた方へ「生き甲斐のある人生」を送っていただくために取り組んできた「挑戦」の全てをぶつけるつもりでいます。

介護施設におけるサービスの本質が、このようなイベントでの勝敗に関係ないことは重々承知していますが、競い合う目的が介護の素晴らしさを多くの方に伝える為であり、競い合った結果として職員のプライドやモチベーションのアップに繋がるのなら、こういったイベントは更に活性化するべきですし、積極的に参加してほしいと思います。

「さわやか立花館」の皆さん、大変多くの仲間が応援しています。決勝大会へ向けて、自信をもって準備を進めて下さい。

今月のオススメ

図書



- 1 RESET(リセット)
～Google流 最高の自分を引き出す5つの方法～(ゴープ・カイル)
- 2 鋼のメンタル(百田 尚樹)
- 3 健やかに安らかに(矢作 直樹)
- 4 認知症は歩くだけで良くなる(長尾 和宏)
- 5 金子みすゞ童謡集(矢崎 節夫 編解説/佐治 晴夫 エッセイ)
- 6 ぼくたちに、もうモノは必要ない。(佐々木 典士)
- 7 日本のこころの教育(境野 勝悟)
- 8 ねむの花がさいたよ(にしがきようこ 作/戸田 ノブコ 絵)
- 9 ヘンリーの想像する力
(スカイ・バーン おはなし/ニック・ジョージ え)
- 10 おおきなかぶ(ポプラ社 出版)

満点合格者の紹介

さわやか和布刈館・主任

かまたに ともや
釜谷 智哉さん

口腔ケア認定士の資格が取得でき、大変嬉しく思います。日々の排泄、食事、入浴等の業務が忙しい中、口腔ケアも重要な位置づけにあると改めて感じています。この思いを全職員に伝えるべく、今以上に指導に励んでいきます。



さわやか清田館

かつやま ふさのり
勝山 房則さん

松田助教、小林ケアマネジャーより直接指導していただき、今回満点で認定士の資格を取得することができました。資格を生かして入居者様の口腔ケア・健康維持に努めていきたいです。



九州歯科大学・松田悠平先生より

この度、本講座のプロジェクト「さわやか口腔ケア認定士」の認定試験を実施致しました。初回にも関わらず多くの方に受験いただき、10人の認定士が生まれたことを大変嬉しく思います。今後、認定士の皆様には各自の現場において、口腔ケア技術の普及活動に貢献いただくことになっております。本プロジェクトをより多くの施設において展開し、入居者様が健康で美味しい食事を楽しめる一助となるよう、尽力して参ります。認定試験合格者の皆様、おめでとうございます。



←松田先生による口腔ケア実習ロボットを使った研修の様子

さわやか★ 口腔ケア認定士誕生

平成28年7月に、第1回目となる「さわやか口腔ケア認定士」の認定試験を実施しました。さわやか口腔ケア認定士とは、九州歯科大学の高齢者支援学講座との取組みの中で誕生した資格制度で、介護職員の口腔ケアに関する知識・技術のベースアップを目的としたさわやか倶楽部独自の社内資格です。試験の合格者には認定証が発行され、月1,000円の資格手当が支給されます。また、施設全体の口腔ケア技術の向上のため、他職員への教育も担うことになります。

これまでの九州歯科大学との取り組みでは、口腔ケアの充実を図ることで誤嚥（ごえん）性肺炎による入院が減少するというデータも出ています。今後は「さわやか口腔ケア認定士」制度を通じて、効果的な口腔ケアの実践による入居者様のお口の健康維持や食べる楽しみへと繋げていきたいと考えています。（草原仁美）

人気ものまね芸人が アサノパティオに集合！

8月26日・27日に福岡市で行われたものまねライブイベント「変人」の前夜祭として、コロッセ俱樂部とのコラボ企画「なりきりカラオケイベント」が北九州市のアサノパティオにて開催され、人気タレントのホリさん、山本高広さん、ミラクルひかるさんが特別ゲストで来店しました。イベントでは、コロッセ俱樂部の店舗からの応募によって選ばれた一般のお客様が、ステージで自慢のものまねを披露し、ゲストの方々からの突っ込みもあって大いに盛り上がりました。アサノパティオの田代絵美店長からもお礼の挨拶を行い、最後はスタッフとの記念写真にも応じて頂きました。



↑左から山本さん、ミラクルさん、ホリさん

介護職員初任者研修

定員 24名 定員となり次第受付終了

受講生募集中

対象者

年齢不問

（18歳未満の方は保護者の同意が必要）
現在介護業務に従事している方および今後介護業務に従事しようとする方

研修場所

福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号
[さわやか倶楽部 本社]

研修費用

38,000円（受講料・テキスト代・消費税込み）
※さわやか倶楽部の職員は10,000円の補助があります

開催日程

平成28年10月18日～平成28年12月8日 ※週2回（火・金）実施

申込期間

平成28年10月11日まで

学習方法

通信学習[約14日間は研修会場にて講義を受講]



お申し込み・お問い合わせは、
お気軽に電話ください。

093-551-5555 担当：市丸、原野



さわやか 相談室

一人で悩まないで！
あなたのお悩み
話してみませんか？



お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております！

電話番号

090-9497-5764

メール

sawayakasoudan@softbank.ne.jp